



# 学校だより

## 学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第10号

令和8年2月24日

杉並区立阿佐ヶ谷中学校  
校長 齋藤 健一

## 教育調査の結果

◎回答率は、保護者…26.2%、地域(学校運営協議会)…11.1%、教員…76.0%でした。  
〔保護者の回答と考察〕

※肯定率が前年度よりも5ポイント以上上回った項目は水色、5ポイントよりも下回った項目は黄色

No.	保護者評価の観点	肯定率 (%)			
		区/本校	R6	R7	前年比
1	子どもは、授業で学ぶことにより、毎日の生活を、自分でよりよくするためにできることが増えている	区平均	57.2	60.2	3.0
		本校	57.7	60.0	2.3
2	子どもは、学校でみんなと一緒に過ごすことによって、社会を、自分たちで変えるための知識や考え方が身に付いている	区平均	65.9	69.6	3.7
		本校	65.6	64.6	-1.0
3	子どもは、学校で人権に関する多様な価値観について学んでいる	区平均	48	63.4	15.4
		本校	52	66.2	14.2
4	学校は、子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	区平均	47.3	53.3	6.0
		本校	43.9	61.5	17.6
5	連携する小・中学校による小中一貫教育（小・中学校の教員による協働授業、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	区平均	43.2	46.6	3.4
		本校	53.7	58.5	4.8
6	子どもは、児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツを、自分の学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	区平均	66.3	69.4	3.1
		本校	59.3	67.7	8.4
7	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	区平均	33	40.4	7.4
		本校	35	40.0	5.0
8	学校は、いじめを絶対に許さないという雰囲気がある	区平均	40.9	50.0	9.1
		本校	48	60.0	12.0
9	学校は、子どもの日常の学びの状況や評価方法について、参観、面談、HP、お便り等により充分提供している	区平均	64	68.2	4.2
		本校	61.8	76.9	15.1
10	学校は、欠席等連絡、お便りの配布、アンケートの実施のオンライン化が進められている	区平均	85.9	88.6	2.7
		本校	70.7	89.2	18.5
11	学校では、教職員、他の保護者、地域の方等とかわり、子どもの成長や学校生活について考えたり話したりすることができている	区平均	43.8	49.7	5.9
		本校	40.7	53.8	13.1
12	子どもが人間関係や自分自身の心の問題で悩んだとき、学校は、その解決を、きめ細かに支援してくれている	区平均	37.4	41.0	3.6
		本校	39	49.2	10.2
13	学校は、通常の学級や特別支援学校、特別支援学級の子どもが相互に交流したり、一緒に活動したりする機会をつくっている	区平均	25.4	31.4	6.0
		本校	58.5	66.2	7.7
14	子どもは、学校生活を楽しんでいる	区平均	70.1	74.2	4.1
		本校	69.1	78.5	9.4
15	子どもは、障害の状態や特性及び心身の発達の段階等に応じた目標の設定や手だてにより自立と社会参加の可能性が広がっている	区平均	59.1	63.8	4.7
		本校	44.4	66.7	22.3
16	子どもは、通級指導教室・特別支援教室で学ぶことによって、学校生活全般への参加がしやすくなっている	区平均	62.8	64.7	1.9
		本校	66.7	50.0	-16.7
17	子どもは、地域の行事に参加している	区平均	15.9	27.7	11.8
		本校	0	33.3	33.3
18	学校は、特別支援教育の現状や上級学校又は社会人の生活など、障害者に関する様々な情報を、保護者会や個人面談、進路説明会などの機会をとおして提供している	区平均	43.1	45.5	2.4
		本校	33.3	25.0	-8.3

保護者の方の学校全体への評価は昨年度より大きく上昇し、平均肯定率が約10ポイント上昇しました。また、18項目中12項目で区平均を上回る評価をいただきました。特に評価が高かった点は3つ。1つは情報提供の充実で、学びの様子や評価の考え方を、学校だよりやホームページ、面談などを通して丁寧に伝えてきました。その結果、「よくわかるようになった」という声が増え、肯定率も大きく伸びました。

2つ目は、オンライン化の推進で、欠席連絡やお便りの配布がオンラインで行えるようになり、保護者の利便性が向上したことで、評価が大幅に上昇しました。3つ目は、安心・安全な学校づくりで、いじめを許さない雰囲気がある」という項目は、昨年度から12ポイント改善し、子供たちの安全を守る取り組みがしっかり届いていることが分かりました。

一方で、改善すべきところもあります。特別支援に関する情報が「十分に届いていない」という声が見られました。また、タブレットなどICTの活用自体は評価されているものの、それがどのような学びにつながっているのか、成果の伝え方に課題が残っています。

これらを踏まえ、来年度は、「学びと生活をつなぐ授業改善」「地域と連携した探究学習の充実」「特別支援の情報提供の強化」「ICT活用の『成果の見える化』」を重点に取り組んでまいります。

### [教員の回答]と考察

No.	教員 評価の観点	肯定率 (%)			
		区/本校	R6	R7	前年比
1	授業では、児童・生徒が、自分の興味に基づいて問いや課題を立てて学べるようにしている	区平均	67.8	67.3	-0.5
		本校	71.4	77.8	6.4
2	授業では、児童・生徒が、学習を進める方法やペースを自分で決めながら学べるようにしている	区平均	54.2	55.3	1.1
		本校	42.9	55.6	12.7
3	授業では、児童・生徒一人ひとりの学びに合わせて、「わからない」を解決するための指導・支援をしている	区平均	76.3	80.4	4.1
		本校	57.1	77.8	20.7
4	学級の全体に関わることは、児童・生徒が自分たちで、全員の考えや気持ちを確かめながら決められるようにしている	区平均	76.6	75.1	-1.5
		本校	71.4	88.9	17.5
5	学校生活で児童・生徒が疑問に思ったことは、全校で話し合ったり、みんなで合意したりしながら変えられるようにしている	区平均	70.8	75.1	4.3
		本校	71.4	66.7	-4.7
6	学校の教育目標や目指す児童・生徒像、特色ある教育活動や教育課程などについて学校運営協議会や学校関係者評価委員会で協議している	区平均	70.8	70.2	-0.6
		本校	71.4	55.6	-15.8
7	児童・生徒が、自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	区平均	61.4	61.7	0.3
		本校	42.9	44.4	1.5
8	連携する小・中学校による小中一貫教育（各教科等において、義務教育9年間を見据えた一貫性のある学習指導計画の作成、児童・生徒の交流など地域活動への参加等）が進められている	区平均	54.9	57.6	2.7
		本校	71.4	77.8	6.4
9	教員である自分自身が身に付けたい資質・能力について、必要な学びが得られており、学び続けることができている	区平均	71.5	75.7	4.2
		本校	71.4	88.9	17.5
10	子どもと向き合う時間が確保できている	区平均	51.9	54.1	2.2
		本校	57.1	77.8	20.7
11	タイムマネジメントを意識して勤務できている	区平均	50.8	54.4	3.6
		本校	71.4	77.8	6.4
12	勤務する学校は、働き方改革に意識的に取り組んでいる	区平均	45.8	46.8	1.0
		本校	57.1	55.6	-1.5
13	誇りややりがいをもって仕事を行うことができている	区平均	74.6	72.8	-1.8
		本校	71.4	88.9	17.5
14	ワーク・ライフ・バランスのとれた生活を送ることができている	区平均	38.3	44.7	6.4
		本校	42.9	66.7	23.8
15	スクール・サポート・スタッフの活用が負担軽減につながっている	区平均	84.7	82.7	-2.0
		本校	57.1	88.9	31.8
16	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や様々なデジタルコンテンツは、子どもたちが学びや生活の必要に応じ、選択して活用している	区平均	73.2	70.5	-2.7
		本校	57.1	77.8	20.7
17	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫を行っている	区平均	46.4	46.5	0.1
		本校	71.4	66.7	-4.7
18	授業や行事、学校生活全般において、その内容や進め方を、児童・生徒が自らを学びの主体であると実感しながら、自分たちで考えたり教職員及び学校関係者と話し合ったりできるようにしている	区平均	67.1	70.2	3.1
		本校	57.1	77.8	20.7

今年度実施した教員アンケートの結果、18項目のうち14項目で前年度より改善が見られ、全体平均でも区平均を約8ポイント上回りました。特に、スクール・サポート・スタッフの活用による負担軽減が大きく進み(+31.8ポイント)その効果として「子どもたちと向き合う時間が確保できている」(+20.7ポイント)や「ワーク・ライフバランス」(+20.7ポイント)の向上につながっています。授業面では、子どもたちの「わからない」を解決するための支援や1人1台端末の主体的活用もそれぞれ20.7ポイント改善し、学習の質が高まっています。

〔地域(学校運営協議会)の回答と考察〕

No.	CS (学校運営協議会) 評価の観点	肯定率 (%)			前年比 (ポイント)
		区/本校	R6	R7	
1	子どもたちは、学ぶ楽しさを実感しながら、問いや課題を自分なりに立て、自分なりの方法で解決したり探究したりする力が育っている	区平均	83.3	81.4	-1.9
		本校	100.0	100.0	0.0
2	子どもたちは、違いを認め合って共に生きる大切さを実感しながら、それぞれの得意を生かしたり、苦手を補い合ったりする力が育っている	区平均	81.7	84.1	2.4
		本校	100.0	100.0	0.0
3	教員は、全ての子どもが共に学ぶ中で自分らしく成長できるよう、それぞれの経験や専門性を生かし合っている	区平均	74.2	78.8	4.6
		本校	100.0	100.0	0.0
4	学校は、全ての子どもが自分の興味や関心に基づいて学んだり探究したりできるよう、家庭、地域、民間の団体や企業等と連携している	区平均	78.3	83.2	4.9
		本校	100.0	100.0	0.0
5	児童・生徒1人1台専用のタブレット端末や学習eポータル、様々なデジタルコンテンツは、子どもたちによって、その時々学びや生活の必要に応じ、選択的に活用されている	区平均	75.8	69.9	-5.9
		本校	100.0	0.0	-100.0
6	学校の教室や校舎、敷地内には、子どもたち自らが、学びや生活の必要に応じて選択的に活用できる多様な場を設けたり、様々な道具を備えたりする工夫がなされている	区平均	53.3	56.6	3.3
		本校	100.0	100.0	0.0
7	学校では、校長を中心に、教育目標や目標達成の基本方針、指導の重点について家庭・地域と協議し、子どもたちの思いや願いを尊重する教育課程を編成している	区平均	87.5	93.8	6.3
		本校	100.0	100.0	0.0
8	学校では、授業や行事、学校生活の内容や進め方について、子どもたちが、学びや生活の主体であることを実感しながら、自分たちで考えたり教職員(学校関係者を含む)と話し合ったりしている	区平均	83.3	88.5	5.2
		本校	66.7	100.0	33.3

少ない人数での結果ではありますが、いただいたご意見を大切に、今後の学校づくりに生かしてまいります。

まず、評価いただいた点で、本校では、子どもたちが自分で問いを立て、興味に基づいて学びを進める姿が見られており、これに対し高い評価をいただきました。また、互いの違いを認め合い、協力して活動する態度が育っていること、そして教職員が専門性を生かして協力し合い、すべての子供を支える姿勢についても、良い評価をいただいています。さらに、家庭・地域・企業との連携についても肯定的に受け止めていただきました。子どもたちの探究的な学びを広げるため、学校と地域が協力して取り組んでいる点が評価されています。加えて、学校の教育目標や教育課程の編成を、地域の皆様と協議しながら進めている点や、子供が学校の主体として行事や授業づくりに関わっている点も、高い評価をいただきました。特に「こども主体」の分野は、昨年度から大きな改善が見られました。

一方で、課題として挙げたのが、タブレット端末などのICTの選択的活用です。「子供が学びの目的に応じてデジタルと紙を自分で選んで使っているか」という点で、今回は評価が低く出ました。

今後は、ICTの活用場面をさらに工夫するとともに、成果の発信にも努めてまいります。

教育活動報告

杉七小ようこそ先輩 1/24(土)

阿佐谷中の『地域活動ボランティア』の生徒が杉七小に出向き、6年生に向けて授業を行いました。この事業は「中学校生活ってどんな日常が待っているのか、中学生から6年生に教えてほしい」という小学校からのリクエストを受け、令和4年度から始まったものです。生徒たちは当日までにミーティングを重ね、タブレットで資料を作って臨みました。当日はメンバーの欠席や急な会場変更にも臨機応変に対応し、保護者の方々も参加しての充実した授業となりました。



## ビブリアバトル 2/10(火)昼休み



今年3回目のビブリアバトルを図書館で実施しました。今回のバトルは1年生で、A組白石雄大さん、B組南保春樹さん、C組脇坂かおさんの3人がそれぞれ推し本を紹介しました。、今回も大勢の参観者が図書館に押しかけ、会場は熱気にあふれました。投票の結果、今回のチャンプ本は、B組南保さんが紹介した『54字の物語(志田雄介 著)』に決まりました。



## 1年理科出前授業 2/13(金)

済美教育センターの理科班の方が来校し、「物質の状態変化」に関する実験と講義をしました。普段の授業ではできない実験をしたり、結果をグループで考察したりするなど、生徒たちは目を輝かせて取り組んでいました。



## G組冬の菅平移動教室 2/15(日)~17(火)

区内の6つの中学校の特別支援学級が、長野県の菅平高原スキー場に行きました。3日間とも天気に恵まれ、素晴らしいコンディションの中でスキーを体験しました。スキーは初めてという生徒も、3日間の講習で最終的には滑ることができるようになりました。また、集団生活を通じて皆と協力することやルールを守ることの大切さを学ぶことができました。この3日間で身に付けたことがこれからの学校生活の中で生かせるようにしていきます。



## 3月の予定



日	曜	給食	行事予定
1	日		
2	月	○	学年朝礼 学校公開・文化発表会展示部門始 都立一次・分割前期合格発表
3	火	○	阿佐中サミット
4	水	○	安全指導 G組卒業生を祝う会⑤ 全校保護者会 地或活動ボランティア
5	木	○	都立分割後期・全日制二次出願
6	金	○	都立分割後期・全日制二次取下げ
7	土	×	土曜授業公開 学校公開・文化発表会展示部門終 学校運営協議会 春のこども祭り
8	日		
9	月	○	全校朝礼 5時間授業 各種委員会 都立分割後期・全日制二次再提出
10	火	○	都立分割後期・全日制二次選抜
11	水	○	3年特別時間開始 3年がん教育⑤ 阿佐ヶ谷塾
12	木	○	3年セーフティ教室⑤ 1,2年合唱練習⑥
13	金	○	都立分割後期・全日制二次合格発表
14	土		
15	日		
16	月	○	生徒会朝礼 全校合唱練習①
17	火	○	卒業式予行③④
18	水	○	卒業式前日指導⑤ 卒業式準備⑥ 3年4時間授業 小笠原自然体験交流始
19	木	×	卒業式
20	金		春分の日
21	土		
22	日		
23	月	○	大掃除⑥ 都立定時制二次出願 小笠原自然体験交流終
24	火	×	修了式
25	水		春季休業日始
26	木		G組新入生体験入級会
27	金		都立定時制二次合格発表 吹奏楽部定期演奏会(セッション枠)
28	土		
29	日		
30	火		
31	水		